

タウンサポーター



下都賀教育事務所 ふれあい学習課
栃木市神田町6-6 0282-23-3422
E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ

下都賀地区PTA指導者研修Ⅰ



6月27日(木)に小山市文化会館を会場に、下都賀地区PTA指導者研修Ⅰを開催しました。NPO法人コチカラ・ニッポン代表の川島 高之氏による「PTAは、期間限定の特権～PTA活動のススメ～」の講演では、御自身の体験をもとに、ライフ・ワーク・ソーシャル三つの視点から様々な示唆をいただきました。

参加者からは、「PTAは学びの多い場だと思います。まずは自分が楽しんで、一緒に活動する仲間を増やせる人間になりたいです。」「子育ては社会貢献につながっているのだと認識しました。木だけを見ないで森を想像していければと思いました。」「PTA活動に取り組む意義を再確認し、楽しみが倍增しました。」といった感想が寄せられました。参加者それぞれがPTA活動について改めて振り返り、今後の実践意欲を喚起するよい機会となりました。



下都賀地区家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修 兼 令和元年度社会教育主事講習現地研修



8月2日(金)下都賀庁舎にて、下都賀地区家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修、兼令和元年度社会教育主事講習現地研修を実施しました。前半は、思春期の子どもをもつ保護者を対象とした親学習プログラムの体験とエピソードとして使用した「日記」の活用の

仕方についての協議を、後半は、情報交換を行いました。

参加者からは、「思春期版の親学習プログラムを体験する機会が少ないので勉強になった。」「エピソードの内容の重要性や提示の仕方について工夫が必要であることが分かった。」「中学校で家庭教育の機会を増やしていく必要があると感じた。」「様々な立場の方との話し合いで、新たな気づきやつながりが生まれ、もっと学んでいきたいと思った。」等の感想をいただき、有意義な研修会となりました。



野木町

～地域をつなぐ

ふれあい学習～

栃木市



子どもおはやし保存会

野木町では、毎年夏休みに太鼓(おはやし)教室を開催しています。小中学生を対象に大太鼓・しめ太鼓・つつみの講座を計4回実施し、8月24日(土)に開催されたふれあい夏祭りで発表しました。

例年、太鼓の講師は『町おはやし保存会』の方々に依頼していましたが、高齢化が進み、かねてより『子どもおはやし保存会』を設立してほしいという話がありました。そこで、以前この教室を受講した子どもたちに声をかけ、10名の会員を集めて設立総会を開催しました。そして、今年の教室では、『町おはやし保存会』と『子どもおはやし保存会』の会員が合同で、太鼓を教えてくださいました。子どもと大人の協力があつたからこそ行えた太鼓(おはやし)教室となりました。



令和元年度サイエンススクール開催!

栃木市では、子どもたちが身近な科学に接することで、その原理を理解しようと自ら考える力を養い、科学技術に対する関心を喚起することを目的とし、近隣の高等学校や大学、科学に関連する施設等と連携し、年度内に7回の講座を実施します。

7月25日に令和元年度最初となる『サイエンススクール in 栃木県警察本部』を開催しました。午前の部では栃木県防災館で施設内にある様々な自然災害を想定した疑似体験活動を、午後の部では栃木県警察本部及び科学捜査研究所(通称:科捜研)の施設見学、鑑識課による指紋採取等の科学捜査の体験学習を行いました。

今後も学びと楽しさを充実させた講座の創出に取り組んでいきたいと思っています。



大平中央小学校の夏休み目玉企画「子ラボ・チャレンジ」

普段できないことを、地域の力を借りてやってみよう!ということで、8月8、9日の2日間、「子ラボ・チャレンジ」を開催しました。「子どもたちのために」という気持ちをお持ちの地域の大人が先生となり、それぞれの得意分野を生かした8つの活動を行いました。今年は市役所総合政策課とコラボした「合わせて100歳ヒアリング」も加わりました。参加児童130名、地域の協力者延べ52名。教員も自分が学びたい活動に子どもと一緒に参加して、地域の方との交流を深めました。

2日目の活動が終わった後には隣保館に全員が集まり、人権のビデオを視聴したり、活動の成果の発表をしたりしました。発表する子どもたちの様子から、活動の楽しさや充実感が伝わってきました。子どもたちや地域の大人たちの笑顔いっぱいの会場は、外の暑さに



負けにくい心地のよい熱気に包まれていました。

とちぎの慣習・ことば集

～のこしていきたい つたえていきたい とちぎ人の思い～

県教育委員会では、栃木県民が受け継いできた慣習やことばを、子どもたちをはじめ多くの県民に伝え、ふるさとへの愛着を育むことで誇れる地域づくりにつなげていくために、標題資料集を作成しました。

作成に当たっては、昨年度、県民の皆さんから身近に伝わる風習・しきたり・ならわし・作法・言い回し・方言を募集し、その中から、

- ・よりよい人間関係につながる行いやマナー
 - ・感謝や願いを込めて地域で協力して行ってきた行事
 - ・県民が親しみを持って使ってきたことば
- をまとめました。この資料集が、学校や地域、家庭などのさまざまな場面で活用され、ふるさと「とちぎ」のすばらしさを多くの方々に共有していただけることを願っています。



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の再生・充実を目指します。